

図 1 4 : 危害の発生条件 (ISO 14121-2:2007 図 2 に基づく)	42
図 1 5 : 危険源の例	44
図 1 6 : 危害のひどさ	55
図 1 7 : リスクレベルの判断基準の例	65
図 1 8 : 人と機械の隔離 (例)	81
図 1 9 : ガードの例	82
図 2 0 : 付加保護方策 (例)	84
図 2 1 : 必要な安全防護及び追加の安全方策 (例)	84
図 2 2 : 非常停止スイッチの種類	85
図 2 3 : エネルギー切り離し手法 (ロックアウト/タグアウト)	86
図 2 4 : 使用上の情報	91
図 2 5 : 機械の安全性を確認するための検証と妥当性確認のプロセス	94
図 2 6 : 一般的な機械部分と制御システムの安全関連部の リスクアセスメントの関係	96
図 2 7 : 「制御システムの安全関連部」のリスククラスと 安全性能カテゴリ JIS B 9705-1:2000	105
図 2 8 : 危険源の参考図 : 機械的危険源の具体例の図	108
表 :	
表 1 : 国際規格タイプ A、B、C の主要安全規格	15
表 2 : 機械安全関連の J I S 規格一覧表 ~ I S O / I E C との対応付け~	18
表 3 : 機械設備のライフサイクルの例	33
表 4 : 合理的に予見可能な誤使用が起こり得る場合 (JIS B 9700-1:2004 に基づく)	34
表 5 : 機械設備に起こり得る機能不良(JIS B 9700-1:2004 に基づく)	35
表 6 : 機械設備のリスクアセスメントの実施前に明確にするものの例	36
表 7 : 機械の制限仕様の指定シート (例)	38
表 8 : 機械の制限仕様の指定シート (記入例)	39
表 9 : 危険源リスト : 危険源、危険状態及び危険事象の例 (JIS B 9702:2000 より)	45
表 1 0 : 危険源の同定のステップ	50
表 1 1 : 参考 : 危険源の同定 直立ボール盤での すべての危険源の洗い出し例 (一部)	53
表 1 2 : リスクの見積りのステップ	57
表 1 3 : リスク要素 : 危害のひどさの考慮事項	58
表 1 4 : 危害のひどさ (S) (マトリクス法)	58